

ネットいじめの実態

ニュースなどでも取り上げられ、深刻な問題となっている、いわゆる「ネットいじめ」。インターネット上におけるいじめや嫌がらせなどを指す言葉ですが、実際の「ネットいじめ」がどういったものなのかご存知ない方も多いのではないのでしょうか。

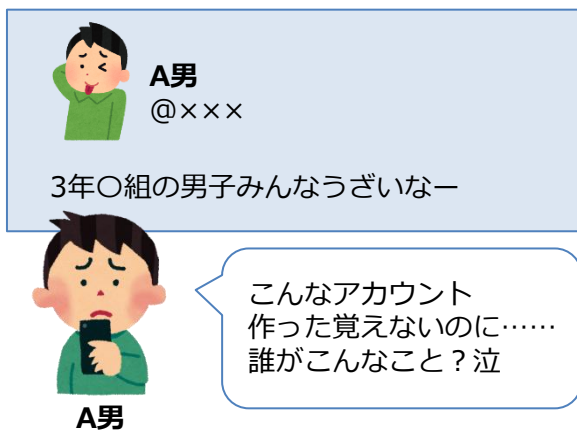
そこで今回はネットいじめの実態についてお話ししたいと思います。

最近よく見られるネットいじめ

「ネットいじめ」といえば以前は、学校裏サイトなどの匿名掲示板での特定の人物への誹謗中傷が主でしたが、SNS等のサービスが発展したことにより、「ネットいじめ」の実態は変化しつつあります。

<SNSでのネットいじめの例>

SNSで、特定の生徒になりすましたアカウントを作成し、そこでほかの生徒の悪口などの不適切な書き込みをおこなう。

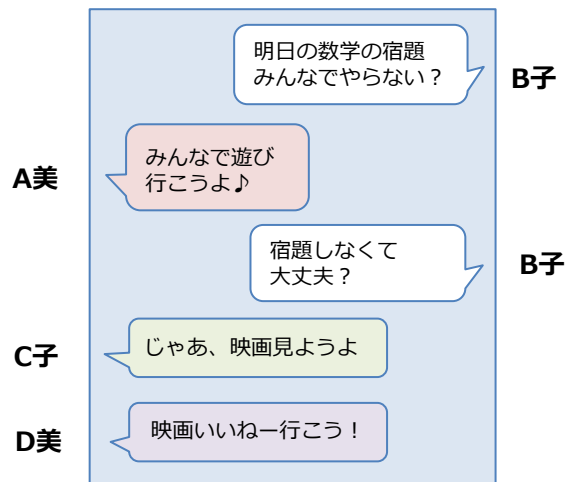


このほかにも、

- ・ SNSで特定の生徒の個人情報やその生徒が見られない写真・動画を拡散する。
- ・ 無料通話アプリで特定の生徒をグループからはずす。
- ・ 無料通話アプリのグループ内で、名前を出さずにそれとなくわかるように特定の生徒の悪口を言う。などといったものがあげられます。

<無料通話アプリでのネットいじめの例>

無料通話アプリのグループ内で、特定の生徒が発言した場合だけみんなが無視する。



B子

ネットいじめの特徴

ネットいじめの特徴としては、場所や時間帯に関係なくおこなわれることがあげられます。スマートフォンなどのインターネット機器があれば24時間どこからでもいじめがおこなわれる可能性があるのです。

また、無料通話アプリやSNSでのやりとりは外部からは見えづらいものであるため、いじめを把握することが難しいということも大きな特徴です。

ネットいじめは誰でも簡単に被害者にも加害者にもなり得るものです。

子どもたちには、自分がいじめられた場合はもちろん、いじめが疑われるような書き込みを見つけた場合も、すぐに周りの大人たちに相談するよう指導しておくことが大切です。